

まにわ

北房コスモスまつり

10月9日、北房コスモスまつりが開催されました。

会場のコスモス広場（上水田）には地域の皆さんの手で約1haに約100万本のコスモスが植えられています。

当日は、北房中学校吹奏楽部や地元の皆さんのコンサート、踊りなどがステージで披露されたほか、農産物販売などの出店も並び、市内外から大勢の観光客が訪れました。



主な記事

9月定例会		P2～6
各常任委員会報告		P7～9
一般質問		P10～18
議会の動き		P19
議会講演会のご案内		P20

平成 28 年 9 月第 3 回真庭市議会

9

月定例会

(会期 9 月 5 日から 9 月 29 日まで)

平成 28 年度 9 月補正予算額

18 億 1,056 万 7 千円

を可決しました

	9 月補正額	補正後予算額	対前年比
一般会計	17 億 5,905 万 4 千円	321 億 6,284 万 8 千円	6.7% 増
特別会計	5,151 万 3 千円	170 億 3,477 万 6 千円	0.4% 増
公営企業会計	0 千円	37 億 8,681 万 0 千円	8.3% 増

補正後総予算額 529 億 8,443 万 4 千円
 対前年比 23 億 8,269 万 2 千円 (4.7% 増)

認定 16 件

全て決算審査特別委員会に付託され、認定されました。

認定第 1 号 平成 27 年度真庭市一般会計決算の認定について

認定第 2 号 平成 27 年度真庭市国民健康保険特別会計決算の認定について

認定第 3 号 平成 27 年度真庭市後期高齢者医療特別会計決算の認定について

認定第 4 号 平成 27 年度真庭市介護保険特別会計決算の認定について

認定第 5 号 平成 27 年度真庭市介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）決算の認定について

認定第 6 号 平成 27 年度真庭市簡易水道事業特別会計決算の認定について

認定第 7 号 平成 27 年度真庭市浄化槽事業特別会計決算の認定について

認定第 8 号 平成 27 年度真庭市農業集落排水事業特別会計決算の認定について

認定第 9 号 平成 27 年度真庭市公共下水道事業特別会計決算の認定について

認定第 10 号 平成 27 年度真庭市分譲宅地事業特別会計決算の認定について

認定第 11 号 平成 27 年度真庭市津黒高原観光事業特別会計決算の認定について

認定第 12 号 平成 27 年度真庭市クリエイト菅谷事業特別会計決算の認定について

認定第 13 号 平成 27 年度真庭市温泉事業特別会計決算の認定について

認定第 14 号 平成 27 年度真庭市農業共済事業特別会計決算の認定について

認定第 15 号 平成 27 年度真庭市水道事業会計決算の認定について

認定第16号 平成27年度真庭市国民健康保険湯原温泉病院事業会計決算の認定について

◆報告2件

報告第9号 平成27年度決算に基づく財政健全化判断比率等について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定により報告があつたものです。実質公債費比率は9.2%、将来負担比率は5.8%であり、早期健全化基準を大きく下回っています。

報告第10号 専決処分の報告について

車両物損事故による損害賠償についての報告です。

◆諮問1件

諮問第2号 人権擁護委員候補者の推薦について

川元信義氏、牧祥宏氏、布野謙二氏、池田雅美氏、西谷玲子氏及び上谷仁志氏を人権擁護委員候補者に推薦しました。

◆議案21件(全て原案可決)

(総務) 総務常任委員会
(文教) 文教厚生常任委員会
(産業) 産業建設常任委員会
(予算) 予算審査特別委員会

議案第76号 真庭市未来を担う人応援基金条例の制定について

(総務) 積極的な取組を行う人を応援し、未来を担う人を育てる事業を行うための基金を設置するものです。

議案第77号 岡山市及び真庭市における連携中枢都市圏形成に係る連携協約の締結に関する協議について

(総務) 岡山市など県内13市町で構成する圏域において連携中枢都市圏を形成するため、連携協約の締結にあたり、岡山市と協議するものです。

【討論あり】
【反対】岡崎陽輔 議員

第1に、連携中枢都市圏構想がさらなる広域自治体につながる恐れのある国の政策誘導策であるという点である。地方交付税をさじ加減で左右して、地方公共団体を誘導する施策をとるべきで

はない。

第2に、連携協約は地方自治法に裏付けのある政策合意を行うことであり、各地方公共団体は政策を実行する義務を負うことになる。中心とその周辺という関係性が、主と従という役割分担を生み出している。自治体間の協定は水平的、相互補完的、双務的な連携であるべきだ。連携協約が進めば今後、自治権の裁量が縮小される可能性がある。

第3に、失効条項について、連携協約の期間が定められていない以上、地方自治法第96条第2項に基づいて一方の当事者自治体の意志に関わらず失効できる規定を設けるべきだ。

【賛成】長尾 修 議員

本議案は、岡山市との教育や福祉や産業など、様々な分野で連携協約を締結するための議案であり、総務常任委員会の中でも執行部から、真庭市にとって利益を損なう連携協約の締結ではないとの明確な答弁があつた。本議案は様々な分野でお互

いに共通の利益を目指すものと理解しているので、賛成する。

議案第78号 真庭市地方活力向上地域における固定資産税の特例に関する条例の制定について

(総務) 地域再生法の一部改正に伴い、固定資産税の不均一課税に係る税率の特例を定め、税率を軽減するものです。

議案第79号 真庭市立幼稚園保育料徴収条例の一部改正について

(文教) 保護者等の所得に応じて幼稚園の保育料を軽減するものです。

水稻共済加入者に無事戻金を交付するものです。

議案第81号 真庭市農業共済果樹無事戻金の交付について

(産業) 果樹共済加入者に無事戻金を交付するものです。

議案第82号 財産の無償譲渡について

(産業) 谷村自治会に岩井谷農産加工処理施設を無償譲渡するものです。

議案第83号 平成27年度真庭市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

(産業) 平成27年度決算による未処分利益剰余金を建設改良積立金に積み立て、残余を繰り越すものです。

議案第84号 鹿地子・千里地区飲用水供給施設の指定管理者の指定について

(産業) 佐引・鹿地子地区及び関・千里地区飲用水供給施設の指定管理者として、千里・鹿地子飲用水管理組合を指定するものです。



久世幼稚園

議案第80号 真庭市農業共済水稻無事戻金の交付について

(産業)

議案第85号 高の巣地区飲用水供給施設の指定管理者の指定について **(産建)**

田原山上・高の巣地区飲用水供給施設の指定管理者として、高の巣自治会水道組合を指定するものです。

議案第86号 野呂地区飲用水供給施設の指定管理者の指定について **(産建)**

田原山上・野呂地区飲用水供給施設の指定管理者として、野呂水道組合を指定するものです。

議案第87号 真庭市北房英賀公園の指定管理者の指定について **(文教)**

北房英賀公園の指定管理者として、株式会社八光を指定するものです。

議案第88号 真庭市勝山健康増進施設水夢の指定について **(文教)**

勝山健康増進施設水夢の指定管理者として、株式会社ガットを指定するものです。

議案第89号 勝山堆肥センタ一の指定管理者の指定について **(産建)**

勝山堆肥センターの指定管理者として、有限会社エコライフ商友を指定するものです。

議案第90号 湯原温泉民俗資料館の指定管理者の指定について **(産建)**

湯原温泉民俗資料館の指定管理者として、一般社団法人湯原観光協会と湯原町旅館協同組合で構成される共同グループを指定するものです。

議案第91号 平成28年度真庭市一般会計補正予算(第2号)について **(予算)**

歳入歳出それぞれ17億5,905万4千円を増額し、歳

入歳出総額321億6,284万8千円を計上しています。

議案第92号 平成28年度真庭市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について **(予算)**

歳入歳出338万2千円を増額し、歳入歳出総額62億5,497万3千円を計上しています。

【討論あり】

【反対】岡崎陽輔 議員

本議案は、国民健康保険会計の広域化、都道府県単位化を進めるための予算を含めるものであり、認められない。理由は3点。

1点目は、広域化が進めば、被保険者の負担が増え、結果として滞納世帯や滞納による保険証の取り上げが増える懸念がある。広域化による被保険者への影響をまず明確にすることを求める。

2点目は、地方6団体も求めている国保の構造的問題を解決するための国の財政基盤強化や支援策がいまだ担保されておらず、国に対して国庫負担の引き上げを強く求めるべきである。

3点目に、基礎的自治体と丁寧な協議すべきであり、なし崩しの財政責任や負担が押し付けられてはならない。以上の理由で、本議案に反対する。

【賛成】妹尾 昇 議員

国民健康保険は平成30年4月の国保広域化はすでに決定事項であり、計画していた財政支援の拡充約3,400億円のうち、1,700億円は計画通りすでに投入されており、残り1,700億円は財源確保に向けて国では最大限努力されている。地方自治体としては、平成30年度の広域化に向けて準備を進めている。

今回の補正予算のうち、広域化の準備として、国保システムの改修費を計上しているのは、広域化のスケジュールに基づき国から県へ保険料算定の基礎となる、納付金の算定システム簡易版が提供されるので、そのシステムで納付金の試算を行うために、国保システムからデータを提供するための改修費であり、広域化を予定通り実施するために必要な予算と言える。よって、原案に賛成である。

議案第93号 平成28年度真庭市介護保険特別会計補正予算(第2号)について **(予算)**

歳入歳出3,325万1千円を増額し、歳入歳出総額58億6,905万5千円を計上しています。

議案第94号 平成28年度真庭市温泉事業特別会計補正予算(第1号)について **(予算)**

歳入歳出1,488万円を増額し、歳入歳出総額1億3,088万円を計上しています。

議案第95号 工事請負契約の締結について(北房統合小学校(仮称)建設建築主体工事) **(事)**

北房統合小学校(仮称)建設建築主体工事について、梶岡建設株式会社・志田工業株式会社特定建設工事共同企業体と18億9千万円で工事請負契約を締結するものです。

議案第96号 工事請負契約の締結について(北房統合小学校(仮称)建設電気設備工事) **(事)**

北房統合小学校(仮称)建



勝山健康増進施設 水夢

設電気設備工事について、栗原工業・梶岡建設特定建設工事共同企業体と2億1,492万円で工事請負契約を締結するものです。

決算審査 特別委員会

委員長 妹尾 昇 議員
副委員長 福井 莊助 議員

本委員会に付託された平成27年度真庭市一般会計決算認定についてほか、特別会計、企業会計、計16件の決算審査のため、9月20日、21日に議場において決算審査特別委員会を開催しました。各担当部・課長等からの説明の後、多くの質疑がなされ、それぞれ説明を求めて、慎重審査しました。

決算審査の概要については、平成27年度一般会計及び特別会計を合わせた全体の決算額は、歳入総額は、499億9,382万1,536円、歳出総額は、475億3,588万7,419円であり、歳入歳出差引額は、24億5,793万4,117円でありました。

慎重審査の結果、全て認定しました。

予算審査 特別委員会

委員長 岩本 壯八 議員
副委員長 妹尾 智之 議員

本委員会に付託された平成28年度真庭市一般会計補正予算（第2号）ほか、特別会計等4件の補正予算審査のため、9月23日に予算審査特別委員会を開催し、慎重審査しました。

補正予算の概要としては、北房地域における新しい子育て環境の整備費として認定こども園施設整備事業など、特に緊急を要する事務事業等で、4会計の補正額は18億1,056万7千円の増額補正であり、補正後の予算総額は、529億8,443万4千円となっています。

会計別の補正額は、一般会計が17億5,905万4千円、特別会計が5,151万3千円、それぞれ増額となっています。

慎重審査の結果、全て原案可決しました。

議会活性化策

8項目を中間提言

6月28日に設置された真庭市議会活性化推進特別委員会は、7月22日に第2回会議を開催し、調査研究事項及び調査研究の進め方について、真庭市議会基本条例を基に議論を進めることや、委員会で全会一致に至ったもののしか実施しないことなど、6つの方針を決定しました。ま

た、調査の効率化と詳細な検討に資するため、政策立案・住民参加・情報公開の3分科会を設置しました。9月28日、各分科会から中間とりまとめの報告を行い、委員会において検討した結果のうち、各分科会において「実施合意ができたもの」及び「前向きに取り組むことを決め、今後更に調査研究を行うこととしたもの」とされた8事項について実施するよう議会へ提言しました。

〔中間提言の項目〕
①政策討論に基づく政策形成サイクルの確立について
②自由討議の推進について
③常任委員会での

各種団体との意見交換会の実施について
④地域報告会の開催について

⑤議会のホームページの充実について

⑥一般質問通告書を傍聴者に配布することについて

⑦所属常任委員会以外の常任委員会の情報提供について

⑧インターネットによる情報公開と利活用について

※中間報告書の全文は真庭市ホームページに掲載しています。

■タブレット活用研修会を開催

ICTを有効に活用した効率的な議会運営を目指し、タブレット端末の導入について検討するため、10月11日、全議員を対象として研修会を開催しました。導入にかかる課題や費用対効果等について、情報公開分科会で引き続き調査研究していくこととしていきます。



タブレット活用研修会の様子

平成28年9月第3回定例会 議案の議員別賛否一覧

		議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	22	23	24	21	
議案番号	議案名		福島一則	福井哲助	中尾雄樹	原秀二	古南陽輔	岡崎正	氏平篤正	築澤敏夫	緒形尚	入澤成	中元唯資	柿本健治	池田文治	小田康勝	初本辰夫	河部修一	長尾精一	宮地秀昇	草田一	妹尾文八	森田壯八	岩本智之	妹尾智之	竹原茂三	
認定第1~16号	平成27年度真庭市一般会計決算の認定について他15件		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長職のため、表決に参加しない
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第76号	真庭市未来を担う人応援基金条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第77号	岡山市及び真庭市における連携中枢都市圏形成に係る連携協約の締結に関する協議について		○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第78号	真庭市地方活力向上地域における固定資産税の特例に関する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第79号	真庭市立幼稚園保育料徴収条例の一部改正について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第80号	真庭市農業共済水稲無事戻金の交付について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第81号	真庭市農業共済果樹無事戻金の交付について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第82号	財産の無償譲渡について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第83号	平成27年度真庭市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第84号	鹿地子・千里地区飲用水供給施設の指定管理者の指定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第85号	高の巣地区飲用水供給施設の指定管理者の指定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第86号	野呂地区飲用水供給施設の指定管理者の指定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第87号	真庭市北房英賀公園の指定管理者の指定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第88号	真庭市勝山健康増進施設水夢の指定管理者の指定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第89号	勝山堆肥センターの指定管理者の指定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第90号	湯原温泉民俗資料館の指定管理者の指定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第91号	平成28年度真庭市一般会計補正予算(第2号)について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第92号	平成28年度真庭市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第93号	平成28年度真庭市介護保険特別会計補正予算(第2号)について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第94号	平成28年度真庭市温泉事業特別会計補正予算(第1号)について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第95号	工事請負契約の締結について (北房統合小学校(仮称)建設建築主体工事)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第96号	工事請負契約の締結について (北房統合小学校(仮称)建設電気設備工事)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

(○は賛成 ●は反対)

総務常任委員会

委員会開催内容

本委員会では、8月8・9日に兵庫県養父市、篠山市、京都府綾部市及び福知山市に先進地視察を、8月23日、9月15日及び9月29日に委員会を開催し、各担当部局の出席を求め、調査研究を行いましたので報告します。

推進しています。また、特区のまち養父市の知名度のアップを図り定住の確保につなげています。
綾部市「里山ねっと・あや

■先進地視察について
国家戦略特区の取組を定住施策につなげる取り組み、市民とともにつくる災害に強いまちづくり及び廃校等の公共施設の利活用に関する先進的事例を視察しました。
養父市では、耕作放棄地が増加するなどの農地が荒れていくのを防ぐため、企業による農業参入をはかり、企業の力を借りて、6次産業化を



里山工房くもべの視察の様子（8月9日）

べ」では、廃校になった小学校を、農業体験や宿泊できる施設としてリフォームし、定住交流のためのイベントに活用しています。

福知山市では、平成25・26年の災害を受けて、自主防災組織育成事業など多くの事業に取り組んでいます。また、災害の教訓を生かし避難情報発信、避難所の開設等をスピーディーに対応しています。

篠山市「里山工房くもべ」では、廃校になった小学校を活用して、カフェ・直売所の運営、都市部との交流事業を積極的に進めています。

《総合政策部》

■真庭市インターンシップ奨励事業について

真庭市では、先進的にインターンシップ奨励制度を創設し、市内企業のPR及び市内の労働者の確保につなげ

勝樹成輔三夫修資
秀廣陽茂敏 唯
本 澤崎原澤尾元
初原 岡竹 築長中
委員長 員員員員
委員 委員 委員 委員

るとともに、定住人口の増大を目的に、学生のインターンシップを受け入れる企業が負担する宿泊費、交通費を補助します。

平成29年2月から実施するとの説明がありました。

■次期行政情報告知システムの整備について

現在のIP告知システムは、告知端末が平成29年度で生産が終了し、メーカーの保守も平成31年度で終了するとの状況のなか、平成28年3月に策定された第3次真庭市情報化計画において、新しい行政情報告知システムとしてFM告知システムを検討する方向性が示されました。FM告知システムは、

停電時でも放送を聞くことができ、整備費やランニングコストが縮減されるなどのメリットがあるが、市内無料

電話の廃止などのデメリットもあり、今後、真庭ひかりネットワーク利用料金の見直しに係る市民の意見を聞く場として、情報化計画策定委員会等で検討していくとのことでした。また、平成31年2月には新しいシステムへ完全移行する予定であるとの説明がありました。

《総務部》

■真庭市再生可能エネルギー等導入事業（北房振興局庁舎）について

市町村の避難所や防災拠点等の公共施設に太陽光発電設備等を導入する経費を補助する県の事業を活用して、北房振興局庁舎に太陽光パネルを設置します。

太陽光発電と蓄電池の活用により、防災拠点としての最低限の機能維持が可能となり、温室効果ガスの排出削減を図ることもできます。

また、北房振興局庁舎の年間使用電力量の14%程度を太陽光発電により賄うことができるとの説明を受けました。

文教厚生常任委員会

委員会開催内容

本委員会では、7月11日・13日・14日に市内のこども園（5園）、小学校（5校）、中学校（3校）、不登校の児童生徒の支援を行う「真庭市教育支援センター城北塾」を訪問し、現場が抱える教育課題や問題点等について調査を行いました。

また、7月20日・21日に長野県小諸市と松本市に先進地視察を、6月21日、7月11日及び8月24日に委員会を開催し、各担当部局の出席を求め、調査研究を行いましたので、報告します。

■先進地視察について

環境施設整備と教育振興基本計画に関する先進的事例を視察しました。

小諸市ではまず、今年の1月に供用開始したごみ処理施設「クリーンヒルこもろ」



勝山中学校の現地視察の様子(7月14日)

を視察し、ごみ焼却の余熱を利用した温浴施設が併設された施設の概要について説明を受けた後、設計・建設・運営の一括発注方式による経費削減効果や、建設候補地を公募により決定した経過等について詳しく質疑を行いました。

その後、同じ市内にあり、一部事務組合で運営を行う「浅麓汚泥再生処理センター」を視察しました。この

施設は、し尿・浄化槽汚泥・下水道汚泥・生ごみと多岐にわたる廃棄物を扱う全国的にも珍しい施設で、メタンガス発電や堆肥化も行っており、肥料は袋代のみで市民に販売しています。ここでは大半を施設内の調査に費やし、設備の状況や実態把握に努めました。

教育の先進地である松本市では、真庭市においても今年度策定中の「第2次教育振興基本計画」の策定体制や流れについて調査を行いました。「学都松本」と称する、教育・文化の面で成熟したまちであり、参考となる例が多い中、山間部の地域が抱える共通した課題についても意見を交わしました。

《生活環境部》

■トンボの里プロジェクト事業について

㈱トンボの創業140周年事

二八正尚昇助則文
源壯篤 莊一一
南本平形尾井島田
古岩氏緒妹福福森
委員長 委員長 委員長
委員 委員 委員 委員
委員 委員 委員 委員

業の一環として贈呈された寄付金の活用について、津黒いきものふれあいの里に隣接する市有林「トンボの森」の看板設置やホームページ開設等を行い、環境学習の場として進展するようPRを推進していく事業の説明を受けました。

《健康福祉部》

■幼稚園保育料の負担軽減と病児保育事業の拡充について

保育園と同様に、幼稚園の保育料も所得に応じた軽減を行う、子育てしやすい環境づくりについて説明がありました。また、病児保育事業について、新たな国の補助制度を活用し、施設整備の充実に図るとともに、お迎えサービスも拡充して実施することでした。

《教育委員会》

■北房統合小学校(仮称)の建設及び教育内容の進捗状況について

6月の委員会では、北房統合小学校(仮称)の建設について図面等資料に基づき説明を受け、委員からは、施設建設に係るCLTの使用量と建築費の差額、敷地内の道路勾配、校舎の屋根素材の耐久性、屋外用トイレの有無、周辺道路と敷地内の不審者対策などの質問がありました。

続いて、8月の委員会では、現地協議や全体説明会を終え、スクールバスの乗降場所を校門付近の敷地内に設けることや、敷地内を車で周回できるよう通路の幅を広げたことの説明を受けました。また、「北房小学校」「北房こども園」に名称が決定したことの報告がありました。統合に向けた教育内容に関する進捗状況の報告では、昨年度3学期に合同授業を実施したところ、統合への不安を抱える子どもが減ってきたというアンケート結果が出たとのことでした。

産業建設常任委員会

委員会開催内容

本委員会では、8月18・19日に北海道函館市と青森県青森市・五所川原市に先進地視察を、6月22日、8月5日及び8月23日に委員会を開催し、各担当部局の出席を求め、調査研究を行いましたので報告します。

■先進地視察について

観光基本計画やインバウンドの取組、JA独自の農業振興施策について先進事例を視察しました。

函館市は南北北海道における行政・経済・文化の中心地として発展し、夜景などの特色ある観光資源を生かした「国際観光都市」として各種施策を展開しており、平成28年3月の北海道新幹線開業により、さらなる観光客の増加が見込まれています。

平成26年に策定した第4

次観光基本計画は、交流・にぎわいの創出、おもてなし・満足度の向上、国際化の促進を基本方針に掲げ、平均宿泊数を平成35年度に1.28泊（平成24年度1.16泊）へ増加させるなど、具体的目標値を設定して取り組まれています。

また、インバウンド観光として、函館市では年間39万7千人の観光客を海外から受け入れており、各国への売り込みを強化し、受け入れ環境整備にも力を入れています。全国農業協同組合連合会青森県本部では特Aを取得した青森県産米「青天の霹靂」^{へきれき}の開発経過と今後の展開について、また、ごしよつがる農業協同組合では、米をJA独自で毎年ほぼ100%直売していることや、香港や台湾向けに米・りんごを輸出していることなど、他のJAにはない特徴的な取組について視察しました。



JA ごしよつがるの中央りんごセンターを視察（8月19日）

《産業観光部》

■林業・バイオマス事業について

全伐後の植栽が進んでいない現状において、山主を

文之治 治夫 育雄 一
康智 文健 辰秀 哲精
田尾 田本 部地 尾田
小妹 池柿 河草 中宮
委員長 委員長 委員長
委員 委員 委員
委員長 委員長 委員長

植栽する気にさせるにはどうすべきか、林業・バイオマス産業課と意見交換を行いました。

新たな木材需要の創出による所得増加や林業コスト削減、国県の補助制度活用など多くの意見が出されました。

また、真庭バイオマス発電株式会社から寄付された1億円については、山から出てきたお金であり、山のために使うべきであるから、使い道について検討してほしいと執行部に申し入れしました。

■バイオマス集積基地からの汚濁水流出について

第二集積基地から流れ出た樹皮の黒い汁に関し、周辺の状況と今後の方向性について委員から発言がありました。

執行部からは、木材事業協同組合で水質の成分検査分析を実施した結果、規制の範囲内であり、地元自治会の代表の方に説明をして了解を得られた。規制の範囲内ではあるが、現状は濁っている、今後とも改善を検討していくとのことでした。

《建設部》

■岡山道4車線化について

建設課から、国土交通省の発表により、高速道路の付加車線設置検証路線に中国横断道岡山米子線が選定されたことについて報告がありました。今後、全線4車線化を目指し、早期の事業着手を要望していくとのことでした。

また、湯原・寄りそい橋に関し、観光協会、旅館組合、ほか周辺の旅館等と協議し、通行の取り決めをしたとの報告がありました。湯原ダム放流等により河川内の通路が水没し使用できない時や緊急自動車が行き止まる等以外は、車両の通行を制限することです。



真庭市議会 9月定例会

一

般

質

問

一般質問の記事は質問した議員本人の原稿に基づいています

初本

勝

議員

鳥獣対策として集落の人、猟友会との検討会議の開催を

問

猿・イノシシ・鹿の対策については、以前にも質問し、その後、対策本部も立ち上がったが、簡単に解決できる問題でないことはよくわかっていて、集落で発生したら猟友会の人たちにだけお願いして任せるだけでなく、集落の人を集め、今後どのような対策をするか検討会議をしていけるのか。猿・イノシシは年々増える状況であり、皆さんにお世話になり捕獲しているが、なかなか



山中に設置された猿のオリ（上地内）

か先の見える事業ではない。先般、兵庫県養父市に行き、高速道路を走っているとき、前の山林の地肌がき

れいに見えており、あれはどうしたことか、きれいに刈られていると言ったら、それは鹿が山林の下草を食い尽くした状態とのことであつた。ああいう状況になると、今度は木の皮をむいて食べる。真庭の大きな問題になる。今のうちに対策を考へるべきでは。市長の考へを伺う。

答 太田市長

この件については、真庭全域で皆さんが悩んでいる。また、被害に遭って怒り心頭というか、ある意味では諦め気分の方もおられる。そう

いう深刻な問題だと思う。特に鹿は、下草どころかコケまで食べるということ、私も京都で経験しており、山のがらや、小石がどんどん落ちてふちが埋まることで治山の問題もあるし、河川災害にまでつながる。真庭も徐々に深刻になつてきており、早期に対策をとらなければという思いでいる。私は就任以来、岡山県の鳥獣対策が生ぬるいとずっと申し上げてきており、直接知事にも、市長会を通して何度も要望してきた。その結果、28年度から岡山県としても対策を強化している。真庭市も副市長をトップに真庭市鳥獣被害対策本部を立ち上げ、猟友会、JA、森林組合、警察の方々と協議をしている。

妹尾

昇

議員

地震に備える体制は万全か

問

国の地震調査委員会が28年7月1日、今後30年以内に活断層の活動によって、マグニチュード6.8以上の地震が中国地方で起こる確率は50%とする長期評価結果を発表した。活断層の特性などに基づき、中国地方を3つの区域に分け、東部（岡山県中南部、広島県東部）は23%の確率、北部（岡山県北部、広島県北部、鳥取県、島根県東部）は40%、西部（広島県西部、島根県西部、山口県）は14320%の確率。特に北部では活断層は5本と少ないが1923年から2015年に起きたM5以上の地震回数が69回で西部の8回、東部ゼロ回より突出して多く、M7以上も2回記録している。この緊急情報を市民に早く知らせる責務があるが、2か月経っても、いまだ知らせていないということは、常識

では考えられない。国は何のために予報を出しているのか、これで市民の生命・財産が守れるのか。真庭市の対応が遅いと言いたい。地震はいつ起こるか知らない、明日かもしれない。備えあれば憂いなし、備えはいくら急いでも急ぎすぎはない。市民に適切な呼びかけが必要であると思うが。



熊本地震の被災状況（熊本県益城町）

答
太田市長

真庭市には活断層は存在していないと言われているが、倉吉から鏡野にかけて存在する大立断層、田代峠布江断層がある。そこでの想定被害というのは最大震度6強が来た場合、建物全壊は634棟、死者29人であるという内容の真庭市防災計画。その中の地震災害対策編を昨年4月に策定して、市民の皆さんに注意喚起を呼びかけている。国が出したもの以前に、1年前から真庭市は出して啓発をしている。国が出したものがそれ以上の被害であれば、これを修正するなり、国の発表周知が必要であるが、その範囲内であるので冷静にやっていくというところで何ら問題はない。

森田一文 議員

山の活性化とバイオマス燃料の再生産について

問

計画では、3年目にフル稼働して、売電価格は20億円台、燃料費は13億円で黒字に転ずると聞いていた



バイオマス集積基地第1工場（目木）

が、初年度で大きな成果を上げて、真庭市に高額の寄付をされた。住民は心から喜んでいますが、この事業は将来に向けて続かなくてはいけない。そのためには、多くの課題があるが、重要なのは燃料の供給だと思う。山主・切る人・運ぶ人・チップする人・発電する人等の分野に現在支払っている金額のバランスがとれているか、検証する必要があると思う。山主のキロ50銭は、燃料の再生産につながらないのでは。増額する必要があると思うが考えを伺う。

答
太田市長

3千万円の出資は小株主だが、その意見は総会で伝える。ゼロ以下のもので13億円もお金になるのだから、地域経済の面でもすばらしい。利益が出たから、みんなで分ければ良いという問題ではない。

地域で育む教育を求めて

問

地域の協力こそが大事で、「地域で育む」この事が青少年の健全育成の基本だと思う。各老人クラブは小学校のグラウンドを利用させていただき、グラウンドゴルフ等をして、そのお礼として学校周辺の草刈り等のボランティア活動を年中やっていたが、現状は使用料が必要となっているため、「学校には協力しない」と住民感情が発生している地区もあると聞く。地域では少子高齢化が進み、人口減少の社会を迎えている。そうした中、青少年の健全育成こそ不可欠だ。そこで質問する。小学校のグラウンドだけでも無料開放して、地域ぐるみで青少年の健全育成をすべきだと思うが教育長の考えを伺う。

答
沼教育長

学校施設を学校教育以外に使う時は、受益者負担がいるように条例で決まっている。

緒形

尚

議員

スポーツクライミングについて

問

第31回夏季オリンピックがブラジルのリオデジャネイロで開催された。28競技、306種目に約1万1千人を超える選手が集った大会は、私たちにスポーツの醍醐味



湯原クライミングセンター（禾津）

湯原にあるクライミングセンターは高さ15mの屋根付可動式のリードウォール2面を有し、公式競技会に対応できる本格派であり、初心者や子どもたちが気軽に楽しむことができるボルダリングウォールも室内にある。大会や合宿にも対応できる充実した

を改めて実感させてくれるとともに感動と勇気を日本中に与えてくれた。

また、原田喜市選手の活躍も、私たち真庭市民にオリンピックをより身近に感じさせてくれた。2020年東京オリンピック組織委員会が提案していた5競技18種目の採用が決まった。中でもスポーツクライミングが採用されたことで、国内はもちろん国外にも真庭市をアピールできるチャンスだと思う。

答

太田市長

馬術やスポーツクライミングで、オリンピックに出場することがあれば地域に勇気と活力を与える。これをもっと強化していけばという指摘は、同じ思いである。できればスポーツクライミングのまちになるようなっていきたいと思う。その場合、指導者なり管理費用をどうしていくかという問題がある。施設の有効活用を考える中で、岡山県の見解を、知事・副知事のトツブレベルの意向を聞こうと思う。県と十分話し、真庭市も主体性を持って、真庭市としてできる限りのことをやっていく。

原

秀樹

議員

小規模集落営農組織への支援策と将来の展望施策は！

問

平成23年4月に告示された「真庭市集落営農組織機械整備事業補助金交付規程」が改訂され、「法人以外



農作業に使用する機械

無い事を回答する事は行政不信にもつながる事例である。農業者の大半の方は年金受給者の方で、耕作するより買った方が安いという中で、生活費を削り機械購入や更新に、貴重なお金を拠出するという厳しい現状にある。現農業者を元気にする施策や支援は行政の責務であり、将来の新規就農の施策につなげる事が重要である。農業者は、皆さん頑張っ

は適用外」との説明が、申請問合せのあった2営農組織になされ、また変更内容は、問合せのある営農組織のみに答える事に行っているという誠に非常識と言わざるを得ない回答があったと聞く。本交付規程は国・県の補助対象とならない中小の集落営農組織に対し設けられた単市の補助制度と認識している。制度については、議論中との事であるが、決定して

ている。市長の見解を伺う。
①「機械整備補助金規程」は
ぜひとも必要である。今後
規制を加える等改訂を検討
されるのか。②生産から販
売まで一貫した施策展開が
必要である。将来の農業展
望施策を伺う。

答
太田市長

この件の対応問題につい
て、内部調整が充分できて
ないという事は初めて知っ
た。組織の最高責任者とし
て大変遺憾に思っている。
教訓として今後行政の質の
高さを求めていく。①現行
の規程を維持しながら、今
後組織の方とJAにも参
加してもらい現状を前進さ
せ、国・県・市・JAが役割
に責任を持ち現状打開を目
指し地域施策として取り組
む。②学校給食・特養施設な
ど年間消費量の決まっている
所を対象に先進地を研究
して検討する。

答
吉永副市長

定住・交流施策と共に外
からの知恵を活用し、真庭
の農業に寄りそう事業を進
める。

長尾 修
議員

**水道料金と施設に
ついて**

合併協議会は地域格差を
なくするため、水道料金を



中和簡易水道施設（蒜山別所）

10年かけて段階的に統一す
るとし、今年4月分をもつ
て全地域、一律料金に改定
された。一般会計から基準
外繰り入れが1億円あり、
今後、修理点検・老朽管の布
設替えなど、施設の維持管
理の課題も山積している。
水道法に基づき、水質基準
に適合した水の供給は当然
であり、地域格差

の是正と平等な
行政サービスの
観点からも、同等
のおいしい水を
供給することは
重要と考える。今
後水道料金に対
して、また、特に
周辺部に多い簡
易水道施設の
水質管理につい
て伺う。

答
太田市長

知恵を出し、工
夫して水道料金
をなるべく抑え
ながら何とかし
て頑張っていく。
今、上げようとい
う気はない。
夏あたたかい

水が出ることは本当に申し
訳ない。指摘の水温上昇を
何とかもう少し抑えられな
いか検討する。そういう所
の実態も含めて知恵を出
す。専門家にも入ってもら
おうと思う。

**（仮称）まにわグル
メプラザの設立に
ついて**

問

観光客や市民が楽しめる
ような、真庭の食材を使い、
我々が子どもの頃食べた、親
から子へ、母から嫁に伝えら
れた四季折々の郷土料理を
次世代に伝えられるような
施設を、オール真庭で検討
してはどうか。真庭固有の
食文化を掘り起こし、伝承
することは意義あることだ
と思うが。

答
太田市長

そういうものが本当は欲
しいと思うながら、まずは
それぞれの店舗が連携し
ながら力量を高めていくこ
うということであり、研究課
題として問題意識を持って
やっけていきたい。

河部辰夫
議員

**消防団の見直しに
ついて**

問



若者が少ない今日、組織
の改編と団員の選別及び待
遇の改善をやるべきだと思
うが。

答
太田市長

今後人口減少で、現実
に即した編成とかを考えざ
るを得ないと思うが、消防
団としつかり話し、検討し
ていきたい。また、消防団
を対象にアンケート調査を
し、そういう現状を把握し
て、より現実的に即した、今
以上に効率的で機能するよ
うな組織にどうしていくべ
きか検討していきたい。団
員の待遇については、トー
タルで他市と比較して遜色
ないので、財政負担を考え
ると、現時点では見直しは
しない。

観光課の設置を提案する

問

①じり貧状態の観光部門を挽回するには、市も本格的に観光産業に取り組み、戦略を練るべきである。

②湯原温泉街の大沼山に
商売の神様、伏見稲荷に鎮
座していただき、パワース
ポットをつくるべきである。

答

太田市長



湯原温泉街から見た大沼山の麓（豊栄）

そしてあるものを磨くというようなこととでやっていけばというふうに思っている、今の私が発起人になるわけには、神社の場合でできない。しかし、それも一つの大きなヒントになると思っている。

①観光戦略はできていない。DMOの方向に持つていくべきだろうと思っている。今、真庭市が観光課をつくるとか、市の組織をどうこうするのではなくて、もっと大きな視点から観光推進体制の構築をしていく考えである。

※DMO：観光地域づくりの舵取り役を担う法人のこと

②観光資源というのは、ある意味ではつくり出すもの。もともと何もないわけだから、観光資源とは自分

草地秀育議員

真庭市定員適正化
計画とアウトソーシングについて

問

平成27年度には、定数内
736人、定数外482人、計1、
218人である。

① 真庭市定員適正化計画では、平成27年からの5年間で、正規職員は51人削減する。ますます非正規の割合が増えるが、正規、非正規のバランスをどうするか。

② 真庭市の保育現場の内訳は、正規職員は52%、非正規職員48%だ。真庭市職員年収は43.5歳平均で583万円。一方、幼保任期付き職員98人の平均年収は259万円である。同一労働同一賃金の観点から妥当と考えられるのか。

③この格差を是正するには、アウトソーシングしかないと考え。まずは、アウトソーシングの担い手の育成から取り組まれたらどうか。

答

太田市長



真庭市役所



真庭市役所

ることは難しい
のも事実だが、一
方ではそういう
非正規、低賃金
労働者を作り出
すということに
つながっている
というか、それを
容認しているよ
うな面もある。保
育職だけではな
くて、例えば保健
師・栄養士。いろ
いろバランスを
どうとるかもあ
る。非常に厳しい
財政状況ではあ
るが、何らかの処

遇改善をやっていきたい。

①平成26年度から定員適正化計画によつて定数管理を行つてゐる。定数外のところが一元管理できていなかった。行政経営の観点に立つて、正規職員・非正規職員、両方を活用しながら、事務事業を推進しているのが現状。ただし、全国的な労働政策、これも十分今後も注視していく必要がある。

②同一労働同一賃金についても、形式的に当てはめ

③真庭市では民間事業者の確保が課題である。しかし、やはり民間活力というものをつけていくというのが地域にとつて本来に必要なと思つてゐる。幼児保育等においても、積極的な民間事業者があれば、一緒に考えていきたい。現実には何かあるというわけではない。真庭市の幼児教育等の質を確保しながら、アウトソーシングも将来的には行えればと思つてゐる。

小田 康文 議員

統合の魅力は園児や児童が自然に交流できることだ

問

①北房こども園で実施される保育、幼児教育はただ単に施設が小学校や、放課後児童クラブと同一敷地内にあるということが市内の他の施設とは異なるというだけでなく、連携していくことが特徴であるべきだと思いが、市長の見解はどうか。

②北房小学校の校舎のレイアウトの特徴はメディアセンターである。文部科学省が定める蔵書数の学校図書を整備するのか。

答 太田市長

①統合の特徴や魅力は、園児や児童が自然に交流できる機会が増え、異年齢交流もできる事である。子どもたちの育ちの連続性を重視したこども園があり、小学校があり、中学校も近くにあるから、保育や教育の



北房小学校（仮称）の完成イメージ

実践が可能になる。また、発達に対して課題がある子どもたちへの対応について、連続してその子ども個人に着目して情報を共有し、切れ目のない支援が行える。

3点目、同一敷地内に地域交流拠点も整備されるので、子どもたちに質の高い放課後の時間が提供できる。4点目、伝承遊びや伝統行事の体験活動など、異年齢集団で交流すること、郷育・地域における教育を行うこともできる。そして5点目には放課後の子どもの居場所が確保できて、貧困対策というようなことも、他地区よりも実施し易い状況が期待できる。

答 沼教育長

②開校時には11学級を想定している。標準蔵書冊数は7,480冊となる。この冊数については、いま各学校にある図書の整理、統合により確保できる。これに対応するために平成29年度から北房地区担当の学校司書を配置する。司書教諭と学校司書が中心になってメディアセンター、学校図書館が効果的に活用されるように取り組む。

中尾 哲雄 議員

河川環境の整備と保全について

問

川はふるさと、緑豊かな健全な森づくりは、豊かな水量をもたらし、河川環境の改善につながる。川をレクリエーションの場として、家族ぐるみの憩いの場として利用できるように努めるべきである。昨今、一段と河川環境は悪くなっているように感じる。河川環境をよくするために、3月に市民あげて行った河川清掃事業のような機会に、河川の立木などを切り払い、雑草も焼き払って、以前のような河川環境を取り戻してはどうかと考えるが、そのような考えがあるのか尋ねる。

答 太田市長

問題は、誰がまず責任を持つてするのか、ということを確認にした上で、一級河川管理そのものが国と県である。基本的に河川区域内の問題は全て県。河川内に立木が繁茂していて、景観を阻害するということもある。そういう箇所の伐採、撤去等は県事業の浚渫工事として行われるので、勝手にこちらが入ると違法になる。



河川内に立木が繁茂する旭川（久世地内）

森林林業に対する環境保全について

問

最近特にイノシシ、猿、鹿などによる鳥獣被害が深刻になっている。少しでも鳥獣害を食い止めるためにも、実のなる落葉樹を植える必要があると考える。取り組み考えがあるか、尋ねる。

答

太田市長

最近の研究では、餌付けを行うことで、個体数がふえて効果がないということ言われている。

真庭産業団地の環境保全について

問

大量の木の皮などが2年半にわたり野積みされている。汚水が水路に流れ出ている。

答

太田市長

建屋に屋根をつけさせることを検討している。

妹尾智之 議員

防災について

問

①被災者台帳、被災者支援システムの導入について。被災者台帳とは、災害が発生した場合、被災者の援護を総合的、かつ効果的に実施するための基礎となる台帳であり、被災者台帳を導入することによって、被災者の状況を的確に把握し、迅速な対応が可能になるほか、被災者が何度も申請を行わずに済むなど、被災者の負担軽減が期待されている。住民基本台帳のデータをベースに、被災者台帳を作成し、これをもとに罹災証明書の発行、支援金や義援金の交付、救援物資の管理、仮設住宅の入退去など、被災者支援に必要な情報を一元的に管理する。これによって被災者支援業務の効率化はもとより、被災者支援業務の正確性及び公平性を図ることができる。真庭市においても被災者支援シス

テムの導入を検討されてはどうか。

②災害復興については、

東日本大震災後、弁護士が各地で実施した無料法律相談への相談件数は、1年間で4万件を超えた。生活再建の過程で被災者は法律にかかわるさまざまな壁に直面する。災害後のリーガルニーズ、法的な問題点が幾つもあることを事前に知っておくことは大変重要だと思う。真庭市においても事前復興の面から、今から備えておくべき法的な問題などについて真庭市地域防災計画に法的相談体制を組織することを位置づけていく必要がある。

さらに災害復興の迅速化にもつながると考えるがいかがか。



イメージ

答 太田市長

①財団法人の地方自治情報センターがシステムをつくっており、すぐにもつなげるということ、これは即刻やる。

②法的な相談体制を強化することは、当然だと思う。相談体制を、防災計画に明記する手続をとる。

柿本健治 議員

猿害対策について

問

有害鳥獣による農作物への被害が農林業の振興に障害となっている。電柵や防護柵で対策を行っているが、猿に対しては実効性が限定的であり、対策に苦慮しているように思う。急激に猿による被害が拡大し、農業の継続が困難な状況も見られ、農地の荒廃の一因ともなっている。出沒エリアは、櫃ヶ山・星山・三谷山の周囲に集中しており、猿の生息エリア及び生息数の把握が必要と考える。猿による農作物被害防止対策として、山に実のなる樹種の植栽を行い人間とのすみ分けが必要と考えるが見解を伺う。

答

太田市長

鳥獣保護管理適正化法により、県が計画を立て推進する制度である。平成28年度より平成30年度に現地調査を行う計画で非常に悠長過

ぎる。樹木の植栽による餌付けはマイナスとの研究機関の調査結果もある。対策の基本は、個体数を減らす事と餌場をなくすこと。草刈り等により緩衝地帯を作る事だと思う。

戦争記憶の継承について

問

昨年、集团的自衛権行使を可能とする安全保障関連法が成立。今秋、派遣予定の南スーダンへの

PKO部隊に駆けつけ警護任務が与えられようとしている。遺族会や元軍人・軍属の方を中心に犠牲者の鎮魂と追悼の取り組みが行われ、戦争の記憶を今日まで語り継がれているが、多くが高齢となり次世代に戦争の記憶を風化させる事なく継承していく事が困難になってくるのではないかと危惧され



戦後五十周年湯原町戦没者追悼碑「平和の塔」(禾津)

る。慰霊・追悼行事を自治体として関わりを持つていく事が必要と考えるが、所見を伺う。

答

太田市長

戦争は最大の人権侵害であり、人権蹂躪だと考えている。戦没者の追悼行事については、合併前の活動を継承しており、遺族会に補助金を支給しているのが実態。平和に向かつて何をしたいのか、自治体としても考えたい。

岩本 壯八 議員

道路等の維持管理について

問

地域内の市道や里道、農道、林道、水路や河川は地域住民の重要な生活インフラだが、経年劣化や大雨等の自然災害などで修理箇所は増える一方、県や市に該当しない法定外施設は自治会での対応となっている。自治会会計も乏しく、自力での修繕が難しくなってきた中で、市が行っている道路等維持修繕原材料等支援事業は大きく貢献している。しかし、規定では1自治会が年度内1回のみの枠が設けられ、発生予測がつかず、制約され、使いにくい。回数を増やすか、柔軟な運用はできないか。

答

太田市長

本来は市の管理責任。住民の方に理解いただき原材料支給している。27年度に132件で約2千400万円、28年度でも同程度の予算を組

み、広く、薄く、平等にという形で配分している。振興局長のところに事業調整費があるので、有効な使い方を検討したい。

水道施設の老朽管更新について

問

飲料水供給の水道事業は生きるための基本的インフラ。市には上水道302km、簡



水道の漏水箇所

易水道573km、飲用水供給施設17kmの管路を所有しているが、上水道23km、簡易水道64kmが40年以上経過した老朽管。約1割が既に更新時期を迎えている。老朽化が進めば漏水が増え、経営を圧迫。平均で4分の1近く地下に流れ出ている。公営企業の上水道は独立採算制で、自己資金で更新しなければならぬが、簡易水道は国の補助金等の財源措置がある。しかし、厚生労働省では平成29年度に簡易水道事業を公営企業会計へ統合させるとし、財政支援は受けられない。莫大な資金が必要な更新が困難となる。市長の所見を。

答

太田市長

全国的な状況も分かって、国も統合を3年延ばす。料金をどんどん上げる訳にはいかないう中で、何とか恵を絞りながらやっていきたい。

岡崎陽輔 議員

障がい者のいのちと人権を守るメッセージを

7月、神奈川県相模原市の知的障がい者施設やまゆり園で、入所者が多数危害を加えられる事件が起きた。ナチスの優生思想につながる、障がい者の命と尊厳、存在を否定する考えを絶対に認めることはできない。個人の権利と尊厳を保障する人権思想に根本から反するものだ。政治・行政に携わる者が、この問題に沈黙することなく、人権尊重と発達保障の観点から明確なメッセージを発するべきだ。第4期真庭市障がい者福祉計画では、障がい者の高齢化や親亡き後を見据えて、地域体制づくりの機能性を有する生活支援拠点として地域生活支援拠点を平成29年度末整備すると数値目標を明記している。今後の方針はどうか。

答 太田市長

本当に憤りを持っている。残念なことには、この思いを持っているのは、この人だけでない。根底には、人間が成長する過程で、教育を受ける課程、人権感覚をどう形成していくかが最も大事である。共生社会の実現のため、行政・教育の分野で誰もが尊重される存在であるとなっていくようにしたい。市の総合計画でもそ



都市公園として設置されている北町公園（久世）

う位置づけている。意識啓発など積極的に取り組む。現在は、真庭地域自立支援協議会に諮って検討している。障がい者福祉全体が遅れている。県のペースが遅い。県全体のレベルアップを図るよう申し入れる。

まちづくり、コミュニティ拠点としての公園づくりを

答 太田市長

公園をまち作りの観点から再検討し、多機能性を生かし、住民ニーズにあつたものに作り変え、公園管理業務中心から環境福祉や観光経済、教育文化やアートまで、真庭らしい特色ある公園整備について計画、検討して欲しい。

時代の要望に応える、まちづくりの一つの中心として整備していく。見解は同じだ。

12月定例会の請願・陳情は11月30日まで

各定例会の請願・陳情提出期限

3月定例会 11月末日
6月定例会 5月末日
9月定例会 8月末日
12月定例会 11月末日

※ただし、土日祝祭日等の閉庁日は除きます。
※様式等についての問い合わせは議会事務局までお願いします。

M-I-Tで議会を ご視聴ください

真庭市議会定例会・臨時会は、「真庭いきいきテレビ」のサブチャンネル（122チャンネル）で生中継しています。

また、一般質問や各常任委員会での付託案件の審査は、録画放送もしています。
ぜひご視聴ください。



議会の動き

平成 28 年

- 7/1 (金) 「真庭～岡山空港線」乗合タクシー運行記念式典
 5 (火) 国道313号整備促進期成会定期総会
 6 (水) 議会広報編集特別委員会
 11 (月) 文教厚生常任委員会 落合建部線等促進期成会総会
 12 (火) 議会広報編集特別委員会
 13 (水) 文教厚生常任委員会 一般国道313号地域高規格道路整備促進協議会総会
 14 (木) 文教厚生常任委員会 栄養改善協議会総会
 15 (金) 湯原・蒜山(二川)バス停)高速バス停車記念式典
 19 (火) 議会運営委員会 真庭地域原水爆禁止平和行進
 20 (水) 文教厚生常任委員会視察研修
 21 (木) 文教厚生常任委員会視察研修
 津山・富郷共同バス運行対策協議会定期総会
 22 (金) 真庭市議会活性化推進特別委員会
 議員報酬及び特別職給料等審議会
 25 (月) 岡山自動車道利用促進協議会等要望活動
 岡山米子線全線4車線化促進市議会連盟総会
 26 (火) 国道313号整備促進期成会要望活動 岡山米子線全線4車線化促進市議会連盟要望活動
 27 (水) 新見勝山線・備北新線整備促進期成会総会 岡山県北森林・林業活性化促進議員連盟総会
 30 (土) 蒜山さかなつかみどり大会

- 10億円の「真庭市未来を担う人応援基金」を創設し、事業提案を募集中。
- 国が重点支援を行う「国立公園満喫プロジェクト」に「国立公園蒜山」を含む「大山隠岐国立公園」が選定された。
- 土砂災害警戒区域、浸水想定区域や避難場所などを追加した「真庭市我が家の防災マップ」を年内に全戸配布する予定。

- 8/2 (火) 京都府福知山市議会視察
 3 (水) 国道313号地域高規格道路整備促進協議会要望活動 森林を考える岡山県民のつどい実行委員会
 4 (木) 国道313号地域高規格道路整備促進協議会要望活動
 5 (金) 産業建設常任委員会
 8 (月) 総務常任委員会視察研修
 9 (火) 総務常任委員会視察研修 福島県喜多方市議会視察
 17 (水) 議会運営委員会
 18 (木) 産業建設常任委員会視察研修 岡山県北森林・林業活性化懇談会
 19 (金) 産業建設常任委員会視察研修 真庭市交通安全対策協議会
 22 (月) 岡山県市議会議員研修会
 23 (火) 総務常任委員会 産業建設常任委員会 岡山放送(株)と真庭圏地域代表との意見交換会
 24 (水) 文教厚生常任委員会
 25 (木) 真庭市土地対策審議会
 26 (金) 委員会活動報告会 議会全員協議会 真庭市議会活性化推進特別委員会 議会運営委員会
 29 (月) 新見勝山・備北新線整備促進期成会要望活動 大阪府議会視察
 31 (水) 議会運営委員会 (株)山陽新聞社津山支社竣工記念式典
 真庭産業団地立地協定式 原田喜市選手報告会

- 9/2 (金) 岡山米子線4車線化促進総決起大会
 5 (月) 本会議(開会) 議会運営委員会
 政策立案分科会 情報公開分科会
 8 (木) 本会議(一般質問)
 議会広報編集特別委員会
 9 (金) 本会議(一般質問)
 13 (火) 情報公開分科会
 14 (水) 本会議(質疑・付託)
 政策立案分科会 住民参加分科会
 15 (木) 総務常任委員会
 岡山県北森林・林業活性化促進議員連盟役員会
 16 (金) 文教厚生常任委員会 産業建設常任委員会
 住民参加分科会 情報公開分科会
 18 (日) 岡山県知事との森林・林業活性化に関する懇談会
 20 (火) 決算審査特別委員会 議会全員協議会
 21 (水) 決算審査特別委員会
 秋の交通安全県民運動オープニング広報パレード出発式
 23 (金) 予算審査特別委員会 政策立案分科会
 グラウンドゴルフ美作ブロック交歓大会
 27 (火) 議会運営委員会
 28 (水) 真庭市議会活性化推進特別委員会 情報公開分科会
 29 (木) 本会議(閉会)

▶車線が増設される岡山自動車道(賀陽ICから北側方向)



真庭市議会だより 第46号

平成28年11月1日発行
発行 真庭市久世2927-2 真庭市議会

TEL(0867)42-1272 FAX(0867)42-1420
URL <http://www.city.maniwa.jp/>(真庭市ホームページ)
Eメール gikai@city.maniwa.jp

入場
無料

地方創生の仕掛け人から
地方議会へ提言

真庭市議会
まちづくり講演会



地方創生は真庭市から

議会・市民・行政 それぞれの役割について

2016.
11/12^土

講師

ひわたし けいすけ
樋渡 啓祐 氏

元佐賀県武雄市長
樋渡社中(株) Founder&CEO

13:30-15:00 (受付開始13:00)

落合総合センター

議会広報編集

特別委員会

委員長	原 秀 樹
副委員長	緒 形 尚
委員	池 田 文 治
委員	柿 本 健 治
委員	妹 尾 昇
委員	初 本 勝

(五十音順)

12月定例会のお知らせ

11月29日(火) 本会議

(開会、提案説明)

12月5日(月) 本会議(一般質問)

6日(火) 本会議(一般質問)

7日(水) 本会議(一般質問)

8日(木) 本会議

(議案質疑、委員会付託)

12日(月) 常任委員会

13日(火) 常任委員会

14日(水) 予算審査特別委員会

20日(火) 本会議

(委員長報告、採決、閉会)

※会議は通常午前9時30分に開会します。
※正式には11月18日の議会運営委員会
で決定します。

多彩なライフスタイルを描くまち 真庭